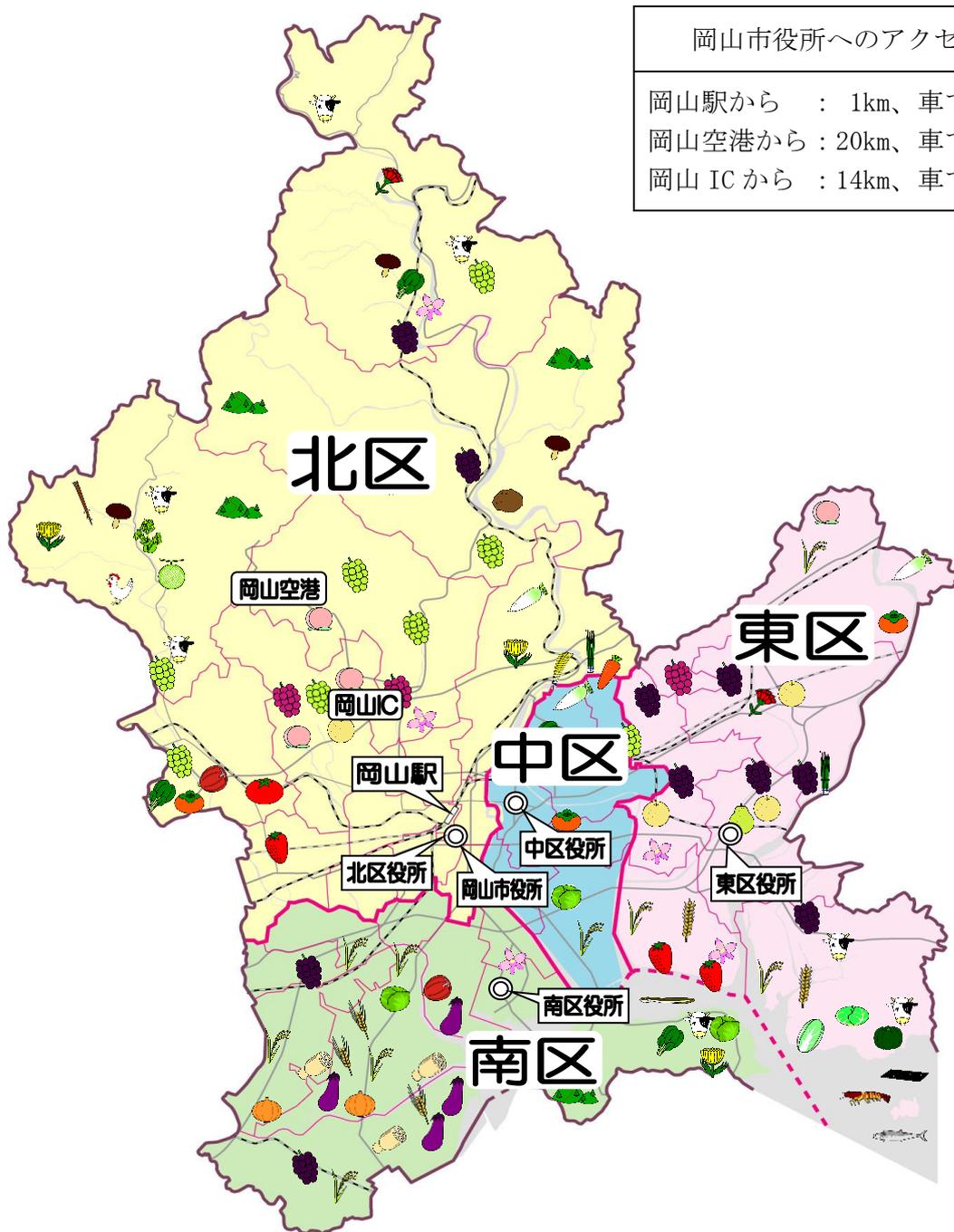
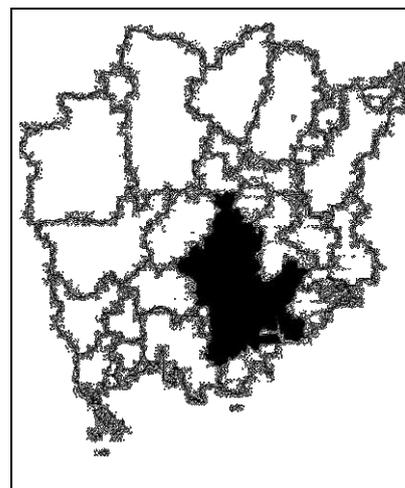


# 岡山市

## 1 市町村概要

温暖な気候や自然災害の影響を受けにくい環境のもと、快晴の日が多く、全国に名をはせる白桃やぶどうなどの果樹が盛んに栽培されている有数の農業都市です。

平成21年4月1日、全国で18番目の政令指定都市に移行し、瀬戸大橋、岡山空港、山陽自動車道、岡山自動車道など広域高速交通網が整備されており、中四国地方の中核拠点都市として発展を続けています。



### 岡山市役所へのアクセス方法

岡山駅から : 1km、車で約2分  
岡山空港から : 20km、車で約50分  
岡山 IC から : 14km、車で約 25 分

人口	706,775人（世帯数 334,876世帯）※令和3年3月末住民基本台帳	
主な産業	卸売・小売・飲食店、農業、建設業、製造業、医療、福祉 ほか	
地域の主なイベント	2月中旬	西大寺会陽（日本三大奇祭）
	3月下旬～4月上旬	岡山さくらカーニバル
	8月初旬	おかやま桃太郎まつり（うらじゃおどり）
	8月	夏の幻想庭園・烏城灯源郷（岡山後樂園・岡山城）
	10月～12月	岡山市芸術祭
	11月	おかやまマラソン
	10月初旬～11月中旬	おかやま国際音楽祭
	12月	モモタロウファンタジー など
生活環境	買い物	市内の国道・県道沿い等、市中心部を中心にスーパー、コンビニ、ホームセンターが多数
	医療	病院：57施設 診療所：702施設 歯科診療：441施設
	学校	保育園：104園 幼稚園：67園 幼保連携型認定こども園：41園 小学校：95校 中学校：45校 高等学校：26校

## 2 新規就農に向けた支援について

### (1) 地域農業の特徴

快晴の日が多い温暖な気候で自然災害の影響を受けにくい上、二つの一級河川が市内を流れており水資源も豊かという恵まれた環境のもと、白桃やぶどうなどの果樹が盛んに栽培されています。その他になすや黄ニラなどの野菜栽培、洋ランや切花などの花き栽培、乳用牛や採卵鶏等の畜産業など多種多彩な農業が営まれており、全国有数の農業都市として知られています。

自然条件
(観測地点：岡山観測所)
年間平均気温：16.5℃
年間降水量：1,154.0mm
積雪：ほとんどない

### (2) 就農希望の方へ

岡山市役所農林水産課内に「岡山市就農サポートセンター」を設置し、総合コーディネーター（相談員）を配置しています。岡山市内で就農を志す方に、新規就農に向けた総合的なサポートを行っておりますので何でもご相談ください。

### (3) 農業体験研修・実務研修の研修主体 ※受入体制の整備状況等により研修生を募集しない場合があります。

	研修品目	産地の位置	研修主体名
1	レタス・露地なす	南区藤田地域	岡山市農業協同組合
2	施設なす	南区備南地域	
3	いちご	北区高松地域	
4	いちご	中区兼基地域	
5	ぶどう	北区津高地域	
6	もも	東区瀬戸地域	晴れの国岡山農業協同組合
7	ぶどう	東区草ヶ部地域	丸草出荷組合
8	ぶどう	北区御津地域	有限会社スコレー
9	いちご	東区西大寺地域	株式会社岡山フルーツ農園
10	ぶどう	東区草ヶ部地域	

**【研修受入の条件等】**

岡山県新規就農研修（農業体験研修・農業実務研修）を希望される場合は、以下の条件等をよくご確認ください。

①申請時の年齢が55歳未満であること。（農家出身者は、就農予定時の年齢が50歳未満であること。）

②将来にわたり農業経営を継続する強い意志と体力を有すること。

③研修を希望する地域の中に溶け込む協調性を有していること。

- ▶ 地域活動の重要性を理解し、指導農家や地域住民並びに関係機関と良好な関係を構築しようとする心構えとコミュニケーション力を有すること。
- ▶ 原則として研修地域で独立・自営就農し、産地の維持・発展に努める意志を有すること。

④研修後、確実に農業経営を開始できるよう十分な準備をしていること。

- ▶ 一度以上研修(就農)希望地域を訪問し、当該地域で農業経営するための具体的な構想を有すること。（資金計画等）

※ 「（４）就農、定住等に関する支援情報」に記載している岡山市事業「新規就農希望者体験研修」を受講するなどして、研修希望地域における農業経営の構想を具体化することをお勧めします。

- ▶ 経営開始に必要な自己資金（運転資金及び生活資金）を確保していること。（300～1,000万円程度）
- ▶ 経営の構想に応じた労働力を確保できる見込みがあること。

⑤前年の世帯所得が600万円以下であること。

⑥原則として生活費の確保を目的とした国の他の事業による給付等を受けていないこと。

※ ⑤⑥の要件の確認のため、農業体験研修受入審査前に、世帯全員の前年所得が確認できる書類（原則として所得証明書及び退職所得の源泉徴収票。前年の所得証明書発行前の期間においては給与所得の源泉徴収票等。）、及び離職票または雇用保険受給資格者証を市担当課にて確認させていただきます。（所得の確認書類はコピー可。）末尾に記載する岡山市担当課まであらかじめご連絡をお願いします。

**（４）就農、定住等に関する支援情報**

就農関係の支援	農地の確保	<p>農地は原則として自己責任で確保いただく必要がありますが、岡山市では以下の制度で情報提供を行うなどサポートしています。</p> <p>&lt;新規就農希望者向け農地・施設等マッチング制度&gt;</p> <p>市民から寄せられた空き農地やハウスなどの物件情報を提供。新規就農希望者の経営基盤の一体的確保とスピーディな経営開始を、農業委員会、農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構や新規就農者を応援する一般市民と連携して支援します。</p>
	新規就農希望者体験研修事業	<p>岡山市内の主要作物を生産し、優れた経営を行っておられる農業者の方から、直接指導を受けて農作業を体験したり、近年就農された方の経験談を直に聞いたりすることができます。次のコース別に実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業インターンシップ研修 実地での農業体験の機会を提供する研修。次の3コースを設定しています。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① ワンデイ・トライアルコース（1日） 農業に興味と不安をお持ちの方向けの入門的な研修</li> <li>② セレクト体験コース（10日以内） 体験したい作目の農作業の時期・期間・作業を選択しての研修</li> <li>③ 1サイクル体験コース（15日以内） 実践的研修や実際の就農に向けて、就農希望作目の主な農作業1サイクルを体験する研修</li> </ul> </li> <li>● 先輩就農者インタビュー研修 就農から6～10年程度経過した方の経験談を、対談形式でお聴きいただく研修。</li> </ul>

		<p>※ 就農のイメージづくりに適しています。 岡山県新規就農研修に参加される前段階で受講しておくことをお勧めします。</p> <p>※ 会社勤務や遠隔地居住、就農への不安を抱いている等の理由で長期・継続的な研修受講が困難な方でも、弾力的にスケジュールを調整することが可能です。</p>
	UIJターン園芸農業者支援事業	UIJターンにより岡山県外から岡山市に移住し、園芸農業（果樹、野菜、花き）を始める方に対して、就農の初期投資として農業機械等の購入費用を補助率1/2以内（補助金上限100万円）で補助します。
	就業奨励金支給事業	岡山市内で新たに農林漁業に就業した若者が、自信と誇りをもって経営を確立し、将来の地域農林漁業を発展させる中核的担い手となるよう就業奨励金を交付し激励します。（1回限り）
その他	住居の確保	<p>県外から岡山市に移住される方のスムーズな移住・定住のために、以下の支援が行われています。</p> <p>(1) 県外から移住された方が、対象となる民間賃貸住宅において、賃貸借契約時に支払った仲介手数料・家賃保証料の一部、及び入居してから補助対象期間終了後までに支払った家賃（最大6か月分）の一部に対し、補助金が支給されます。（予算の範囲内のみでの対応となります。）</p> <p>(2) 県内15自治体及び不動産業界団体と連携・協力した「移住・定住のための住まい探しの支援サービス」を実施しています。移住・定住相談窓口に、住まいに関する希望条件など（価格、間取り、立地条件、地域など）をご相談いただければ、区域内の賃貸物件、分譲物件（土地含む）の情報を提供することができます。</p> <p>(3) 空き家情報バンクで市内の空き家情報を提供しています。</p>

#### 新規就農に関する連絡先

担当課名：岡山市役所産業観光局農林水産部農林水産課 住所：岡山市北区大供一丁目1番1号  
 電話番号：086-803-1347 FAX番号：086-803-1739  
 H P：https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000016993.html